

新宿区立漱石山房記念館へご支援をお願いします



夏目漱石 記念施設 整備基金

ご寄附のお願い



© Forward Stroke.inc

夏目漱石が生まれ育ち、その生涯を閉じたまち・新宿区に、漱石生誕150周年にあたる平成29年（2017）9月24日に、「新宿区立漱石山房記念館」を開館いたしました。

漱石にとって初の本格的記念館の資料収集等に、全国の皆さまのお力添えをいただきたく、「夏目漱石記念施設整備基金」に皆さまからのご寄附をお願い申し上げます。

漱石を発信する活気と賑わいのある記念館です。 漱石文学とともに、 ゆったりとした時間が過ごせます。

明治40年(1907)、朝日新聞社の社員となった夏目漱石は、牛込区(現新宿区)早稲田南町の家に移居し、本格的な執筆活動を開始しました。漱石が多くの名作を世に送り出したこの家は、「漱石山房」と呼ばれ、今でも人々の記憶に刻まれています。新宿区は、この地に文豪・夏目漱石にとって初の本格的記念館を開館し、土地の記憶を未来に継承しています。

夏目漱石と新宿

夏目漱石は、慶応3年(1867)1月5日(新暦では2月9日)に牛込馬場下横町(現在の喜久井町)で生まれ、大正5年(1916)12月9日に早稲田南町で亡くなりました。区内には、数多くの漱石ゆかりの地があります。

江戸時代、牛込周辺の11か町を治める名主だった夏目家。江戸が東京になったころ、漱石の父親・直克が、夏目家の家紋「井桁に菊」にちなんで名付けた町名が「喜久井町」です。自宅前の坂は「夏目坂」と命名され、今でもその名が残っています。

また、漱石の作品には、新宿での生活や体験が刻み込まれています。『それから』の神楽坂、『彼岸過迄』の矢来町など、新宿の景色や漱石ゆかりの人物が頻繁に登場します。

漱石山房とは

漱石は、晩年の9年間を「漱石山房」と呼ばれた早稲田南町の家で暮らしました。この家は和洋折衷の平屋建てで、庭の大きな芭蕉の木や、洋風のベランダ式回廊が特徴的でした。

早稲田南町に移居したころから文筆業に専念し始めた漱石は、この地で『三四郎』『こころ』『道草』など数々の代表作を執筆しました。客間では週1回木曜日に、「木曜会」と呼ばれる文学サロンが開催され、漱石を慕う若い文学者たちの集いの場にもなっていました。

建物は昭和20年(1945)の空襲で焼失し、その後、敷地の一部は区立漱石公園となりました。



漱石山房の外観 大正5年(1916)12月



夏目漱石 漱石山房の書齋にて
大正3年(1914)12月

漱石山房記念館

施設の概要

- 開館時間 午前10時～午後6時
(入館は午後5時30分まで)
- 休館日 月曜日(休日の場合、直後の休日でない日)、
年末年始
- 観覧料 一般300円、小中学生100円(通常展)
特別展については別途定めます。
※団体(20人以上)は個人の観覧料の半額
※障害者手帳をお持ちの方は、受付にご提示い
ただくと観覧料が無料になります

- 所在地 新宿区早稲田南町7番地
- 問合せ先 03-3205-0209
- アクセス 東京メトロ東西線早稲田駅
1番出口より徒歩10分
都営地下鉄大江戸線牛込柳町駅
東口より徒歩15分
都営バス(白61)
牛込保健センター前より徒歩2分
※駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。



導入展示 (1F 無料エリア)
開放的な空間で漱石の生涯を知ることができます。



漱石山房の書齋再現 (1F)
漱石が名作を生みだした書齋を実物大で再現しています。



漱石の言葉 (2F)
漱石の印象に残る言葉を展示しています。



「漱石の作品世界」(2F 資料展示室)
作家・夏目漱石の作品世界を紹介しています。



情報検索システム (地下1F 無料エリア)
漱石に関する情報を閲覧できます。



図書室 (地下1F 無料エリア)
漱石作品や関連図書を約 3,500 冊揃えています。



講座室 (地下1F)
新宿区・記念館主催の講座等を開催するほか、団体登録等により一般の方もご利用いただけます (有料)。



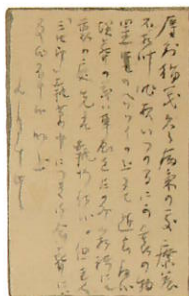
ブックカフェ (1F 無料エリア)
お茶やお菓子とともに、漱石作品や関連図書をお楽しみいただけます。

基金活用実績

記念館では、漱石に関連する資料、「漱石山房」や漱石を取り巻く人々に関わる資料を中心に、資料の収集・保管を行い、未来に継承していきます。皆様からいただいたご寄附は、資料の購入、修復、複製資料の製作等に活用させていただきます。



(左) 夏目漱石「土」に就て」原稿 (全 21 枚)
明治 45 年 (1912) <購入>



(右) 夏目金之助 (漱石) 松根豊次郎 (東洋城) 宛てはがき「猫の死亡通知」
明治 41 年 (1908) 9 月 14 日 <複製 / 原資料 新宿区蔵>



2階資料展示室では、年に数回通常展や特別展を開催します。

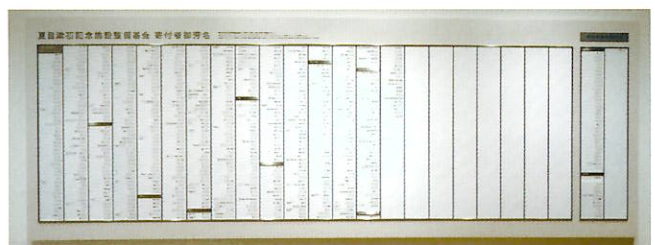


寄附の特典



紙しおり 3 点セット

寄附金	特典内容
1,000円以上	<p>【基本特典】</p> <ul style="list-style-type: none"> 紙しおり 3 点セット 寄附者名 (個人・法人等) を新宿区公式ホームページ等に掲載 (任意)
10万円以上	<ul style="list-style-type: none"> 寄附者名 (個人・法人等) を、記念館内の銘板に掲載 (任意) 基本特典



館内に設置された銘板

夏目漱石記念施設整備基金にご協力を

お寄せいただいたご寄附は、記念館の資料収集等に活用いたします。
皆さまのご支援・ご協力を心よりお願い申し上げます。

銘板記名
10万円
以上

- 基金にご協力いただくと、所得税の控除や、「ふるさと納税制度」の活用による住民税の控除が受けられます。
- 10万円以上のご寄附をいただいた場合は、記念館内に設置した銘板に記名させていただきます。
※銘板製作期間の都合上、ご寄附から記名までお日にちを頂戴します。「寄附金受領証明書」送付の際に、掲載時期をお知らせいたします。

寄附の方法

ゆうちょ銀行・郵便局の窓口・ATM等で、一口1,000円から寄附できます。

● ゆうちょ銀行(郵便局)での寄附

- ① このパンフレットにはさみ込んである振替払込書(払込取扱票)を利用(手数料はかかりません)

▶寄附申出書と兼用のためこちらが便利です

▶払込手数料はかかりません

- ② ゆうちょ銀行(郵便局)に設置されている振替払込書(払込取扱票)を利用(手数料はご依頼人負担)

【口座記号番号】

00180-7-0291301

新宿区夏目漱石記念施設整備基金

● 郵便局以外の金融機関での寄附

- ③ 各金融機関のATM(現金自動預払機)を利用(手数料はご依頼人負担)

【口座番号】

ゆうちょ銀行〇一九支店

(当座預金) 0291301

新宿区夏目漱石記念施設整備基金

※②③を利用する方には「寄附申出書」をお送りします。文化観光課文化資源係へご連絡ください。

※上記以外の方法で寄附を希望する方は、お問い合わせください。



税制上の優遇措置

- 夏目漱石記念施設整備基金にご寄附いただくと、所得税、住民税の寄附金控除の対象となります。
- 控除を受けるには、原則確定申告が必要です。
- 寄附した際の領収書は、控除を受けるための申告に必要となりますので、大切に保管しておいてください。
- 新宿区から送付される「寄附金受領証明書」を添付して申告してください。
- 詳しくは、管轄の税務署・お住まいの区市町村の税務担当課にお問い合わせください。



ご寄附に伴う個人情報の取扱い

ご寄附により取得した個人情報につきましては、個人情報保護法等を遵守し、区から「寄附金受領証明書」をお送りする際や記念館の関連イベント等のご案内を送付する際にのみ利用いたします。



ご寄附の
お申込み先
お問合せ先

新宿区文化観光産業部 文化観光課 文化資源係

新宿区歌舞伎町1-5-1(第一分庁舎6階)

TEL 03(5273)4126 FAX 03(3209)1500

新宿区公式HP <http://www.city.shinjuku.lg.jp/>

漱石山房記念館 HP <https://soseki-museum.jp/>

※夏目漱石記念施設整備基金の寄附状況をご覧いただけます。

漱石 基金 で 検索